

ご挨拶

兵庫県立宝塚西高等学校

新校長 山崎 信一

令和5年4月1日付で、本校第17代校長に着任致しました山崎信一(やまざき)のぶ(かず)と申します。宝塚市内高等学校に12年ぶりに戻ってまいりました。どうぞ、よろしくお願い致します。

本校は昭和52年に開校され、今年度47年目を迎えます。

本年度も、国際社会に貢献できる人材の育成をめざし、国際交流など、特色ある教育をおこない、生徒一人一人の夢や目標を実現する力・生きる力をつける教育を実践してまいります。ここ3年間は、新型コロナウイルス感染症対策により、学校での活動が制限され、中止や規模縮小を余儀なくされておりましたが、新型コロナウイルスも位置づけがインフルエンザ同様となることを踏まえ、徐々にコロナ禍前の教育活動に戻す予定です。

さて、本校の校訓「自立・自律・捨身」より、「自ら立ち、自ら律し、他人のために貢献する」、つまり、自分で物事を考え、判断する力を養い、その力や本校で学んだ知識を社会に還元する、そういう人材の育成をめざします。本校の強みである「国際教養コース (Liberal Arts and Communication) 通称LACコース」を基盤に、外国教育にも力を注ぎ、グローバル化に対応できる生徒の育成を目指してまいります。

また、本年度入学生から制服を一新しております。いままでは違う「西高生」のイメージになると思います。



宝塚市立逆瀬台小学校長 田上 裕一
昨年度、地域の皆様のご理解のもと、コミュニケーションスクールとなった本校では、宝塚市教育振興基本計画の「自分を大切に 人を大切に ふるさと宝塚を大切に するひとづくり」が大きな目標です。その目標達成に向け、小規模化していく逆瀬台小学校の体制づくりを進めていきたいと考えています。

地域と共にある学校へ

逆小だより



逆小ドラゴン活動報告



今年3月、「ワールド・ベースボール・クラシック (WBC)」が日本中で盛り上がりを見せ、野球熱が高まりました。スポーツの多様化や少子化の影響で子供たちの野球人口も減ってきていますが、これを機に野球に興味を持ってくれる子供が増えることを切に願っております。

逆小ドラゴンは32年目の活動に入りました。逆小グラウンドを拠点に野球をがんばる子供たちを地域の皆様にも温かく見守っていただければ幸いです。

う存分勉強やスポーツに励んでくれることを期待しています。

<Aチーム 公式戦で好スタート>

新年度チームの活動は新春よりスタート。上級生で構成されるAチームは、『西ジュニア杯』の準優勝を皮切りに、『新人戦 (高円宮杯)』では宝塚市3位の好成績を収め、日刊スポーツ杯出場権と県大会出場権 (5年ぶり) を獲得しました。

市内大会で勝ち進んだチームだけが出場できる県大会。強敵ばかりで壁はとても高いですが、まだまだここから勝負です。悔しい気持ちをバネに練習に励んでいます。

<Cチーム ちびっこ大会に向けて練習開始>

下級生で構成されるCチームは、秋に行われるちびっこ大会に向けての練習が始まります。ちびっこ大会は野球を始めた選手が最初に目標とする大会です。我が逆小ドラゴンは一昨年はBブロック優勝、去年がBブロック準優勝と快進撃を続けています。今年はどんな活躍を見せてくれるのか楽しみます。

<第31期生卒団式>

2月26日の卒団式では逆小ドラゴンを巣立つ4名の選手を送り出しました。コロナ禍3年の中で活動制限を余儀なくされ、苦しい経験をたくさんしてきた31期生。ドラゴンで培った様々な力を、それぞれ進学した中学校で発揮してくれることを祈りつつ、思



今後「逆小ドラゴン」への応援をよろしく願います。

「スポーツクラブ21ゆずり葉」逆小ドラゴン 杉野